

国宝「六面石幢」の移設・修理事業に対する補助について

本件については、令和元年 11 月 1 日に国の補助事業に採択され事業が開始された旨、令和元年 12 月議会の文教委員会に報告いたしましたが、本年 1 月 8 日に、本事業に対する文化庁の補助事業方針が固まり、1 月 28 日の「第 2 回 普濟寺国宝石幢保存検討委員会」において、事業期間、事業手法等の事業全体の方針が追認されました。

市は、国宝所在自治体として国宝所有者・国・都との調整事務を行うとともに、重要な文化財を将来に伝える責務があることから、本年度から国の補助スキームに合わせ次のとおり補助したいと考えています。

1 国庫補助事業名

- ・国宝石幢美術工芸品防災施設事業（平成 31 年度から令和 5 年度までの予定）
- ・国宝石幢美術工芸品保存修理抜本強化事業（令和 2 年度から令和 5 年度までの予定）

2 事業費

総事業費（概算） 92,001,000 円

3 市補助額（所有者負担の 1/2 を市で補助）

- ・平成 31 年度 481,250 円
- ・令和 2 年度～5 年度 9,008,000 円

4 市補助の根拠

- ・文化財保護法第 182 条の 1 項（地方公共団体の事務）

地方公共団体は、文化財の管理、修理、復旧、公開その他その保存及び活用に要する経費につき補助することができる。

- ・立川市文化財保護事業費補助金交付要綱を一部改正する。

5 予算措置

今年度分（481,250 円）は、本年 3 月補正を予定。令和 2 年度以降については、国への補助申請額が決まった段階で補正予算対応とする。